

第1回 朝来市水道事業審議会

令和8年2月4日（水） 9：30～11：00
朝来市本庁舎4階 401会議室



1. 開会
2. 挨拶
3. 委員紹介
4. 議事
5. 閉会

3. 委員紹介

No.	氏名	備考
1	阿野 真由美	審議会委員
2	安保 敏之	公募委員
3	勝山 清	連合区長会会長
4	衣川 浩二	朝来市商工会会長
5	木村 昭興	福市山公立大学地域経営学部教授
6	越前 昌己	兵庫県土木部上下水道課
7	島 裕幸	近畿税理士会和田山支部
8	中西 光彦	中小企業診断士
9	西垣 恵	朝来市商工会女性部部長
10	松原 朋恵	公募委員
11	宮田 さと子	朝来市女性団体ネットワーク

ご起立いただき、一言ご挨拶ください

(1) 正副会長の選任について



○朝来市水道事業審議会条例

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長がかけたときは、その職務を代理する。

(2) 諮問について



○朝来市水道事業審議会条例

(所掌事務)

第2条 **審議会は、市長の諮問に応じて次に掲げる事項を審議し、その結果を答申するものとする。**

- (1) 水道事業財政計画に関すること。
- (2) 水道料金に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、水道事業の運営に関して必要なこと。

諮問第2号

朝来市水道事業審議会会長 様

朝来市水道事業ビジョンの策定について（諮問）

安全で強靱な水道事業を持続させるため、水道事業ビジョンの策定について、朝来市水道事業審議会条例第2条第3号の規定に基づき諮問します。

令和8年2月4日

朝来市長 藤 岡 勇



諮問趣旨

人口減少に伴う水需要の減少や施設・管路の老朽化等に伴い水道事業を取り巻く状況は厳しさを増しております。このような状況の中で、市民生活に欠かせない安全・安心でおいしい水を供給するための水道事業を、将来にわたり継続できるように施設の維持管理と安定した経営を行うために、今後10年間の水道事業の基本方針となる新たな朝来市水道事業ビジョンの策定について、審議いただくものです。

(3) 朝来市水道事業ビジョンの概要



朝来市水道事業基本計画 “水道事業ビジョン2016”

～安全なおいしい水の供給と強靱な水道を目指して～

概略版



朝来市都市環境部上水道課

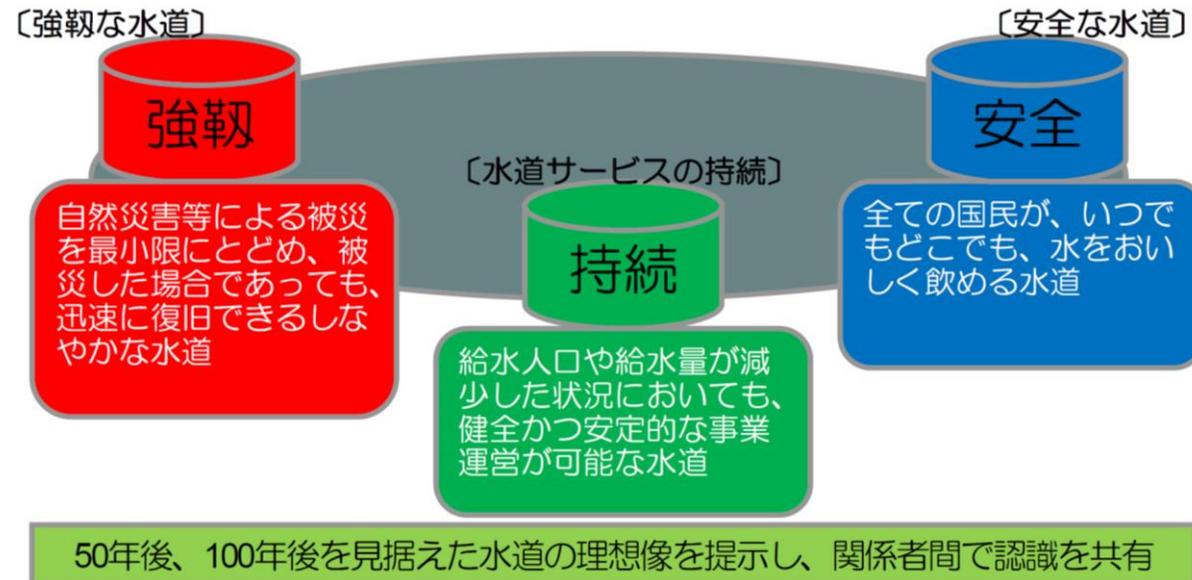
1. 計画の趣旨
2. 事業概要
3. 現状評価・課題
4. 理想像と目標設定
5. 推進する実現方策
6. 目標達成にむけて

1. 計画の趣旨

水道事業ビジョンとは？

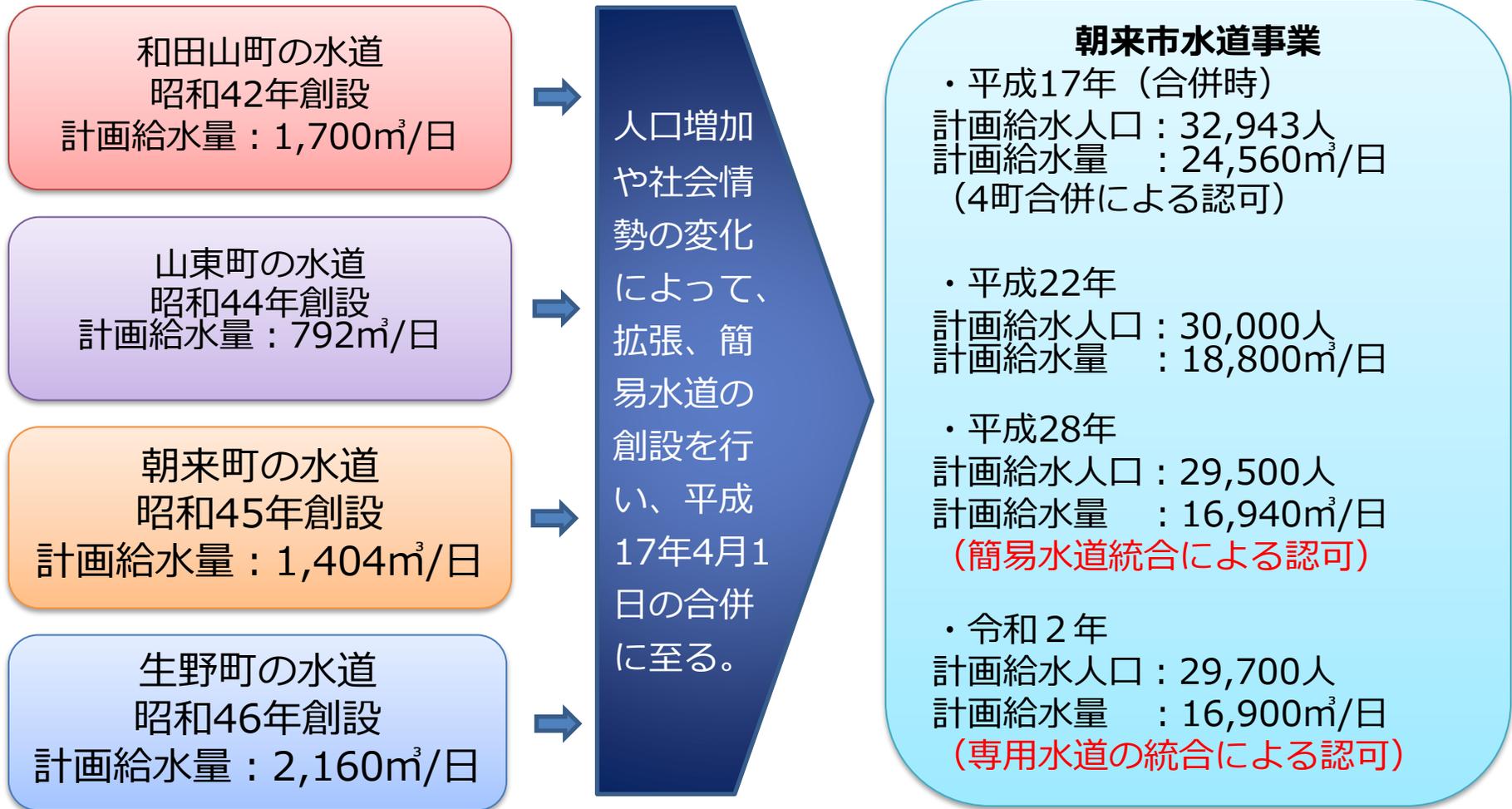
➡ 国の「新水道ビジョン」を踏まえて
50年先を見据えた水道の理想像を示し、
持続可能な水道行政を目指すもの

厚生労働省「新水道事業ビジョン」より抜粋



2. 事業概要

(1) 水道施設の概要



昭和42年創設以降、合併や統合しております

2. 事業概要

(3) ビジョン概要 2

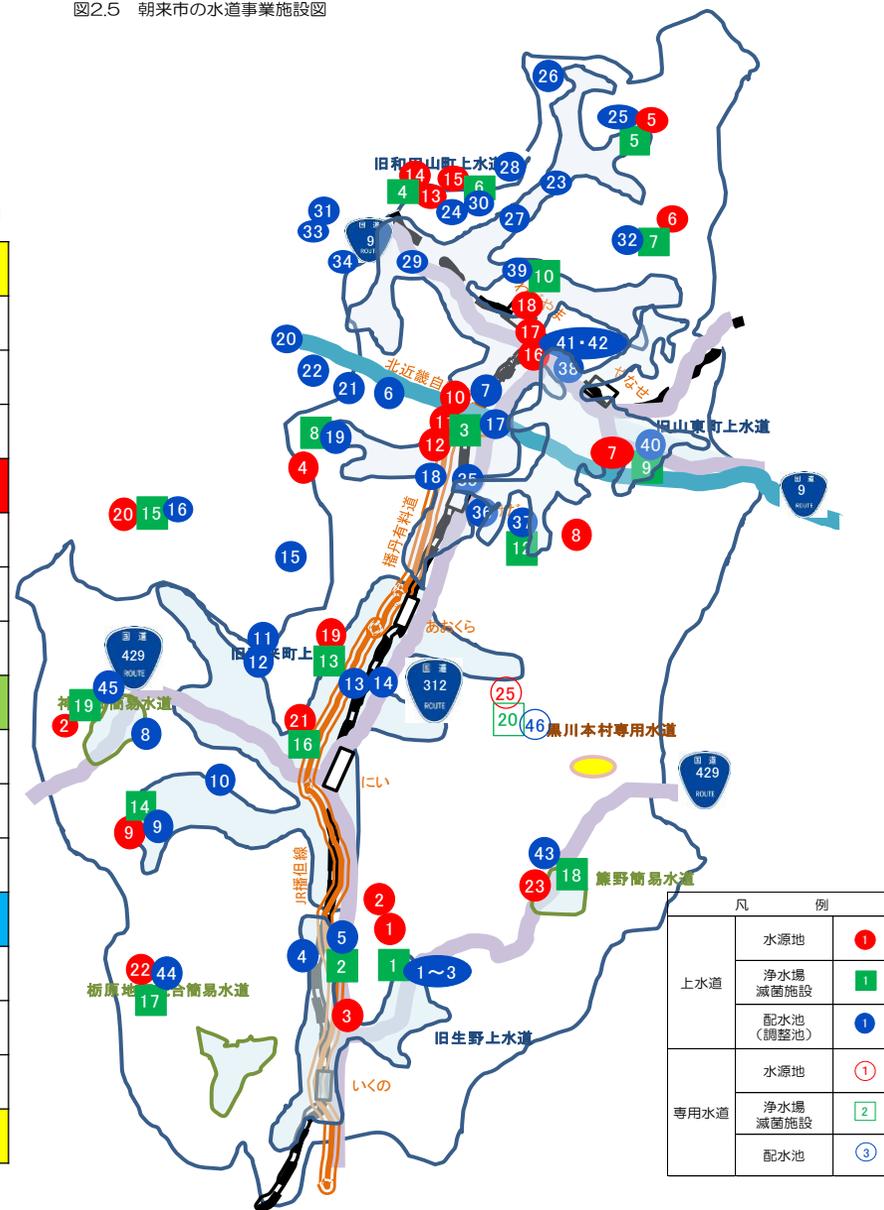
図2.5 朝来市の水道事業施設図

(1) 水道施設の概要

水道施設の箇所数と能力

(令和7年4月1日現在)

水道施設	種 別	箇所数	取 水 量
水源地	ダム取水	4	8,000m ³ /日
	表流水	7	1,327m ³ /日
	地下水	10	10,670m ³ /日
計		21	19,997m ³ /日
浄水場	塩素滅菌のみ	4	8,758m ³ /日
	緩速ろ過	3	704m ³ /日
	急速ろ過	11	7,782m ³ /日
計		18	17,244m ³ /日
配水池	PC (プラスチックコンクリート)	7	9,183m ³
	RC (鉄筋コンクリート)	29	5,130m ³
	鋼板製・ステンル鋼板製	8	2,768m ³
計		44	17,081m ³
配 管	導水管		8,173m
	送水管		37,183m
	配水管		382,760m
計			428,116m



旧4町ごとに整備されたため、施設が点在しております

2. 事業概要

(2) 給水人口・給水量の推移

- ・ 給水人口は人口減少に伴い減少
- ・ 給水量も、機器の節水効果等により減少

R6決算 給水人口：27,240人、給水量：10,730m³/日

(3) 給水収益の推移

- ・ 給水収益は、給水量の減少により減少傾向

R6決算 給水収益：549,269千円、純利益：64,707千円

(4) 資本費の推移

- ・ 平成25年度に与布土浄水場の整備が完了

R6決算 収入：186,159千円、支出：464,873千円

収支の差額：△278,714千円

※不足額は、損益勘定留保資金等で補填しています

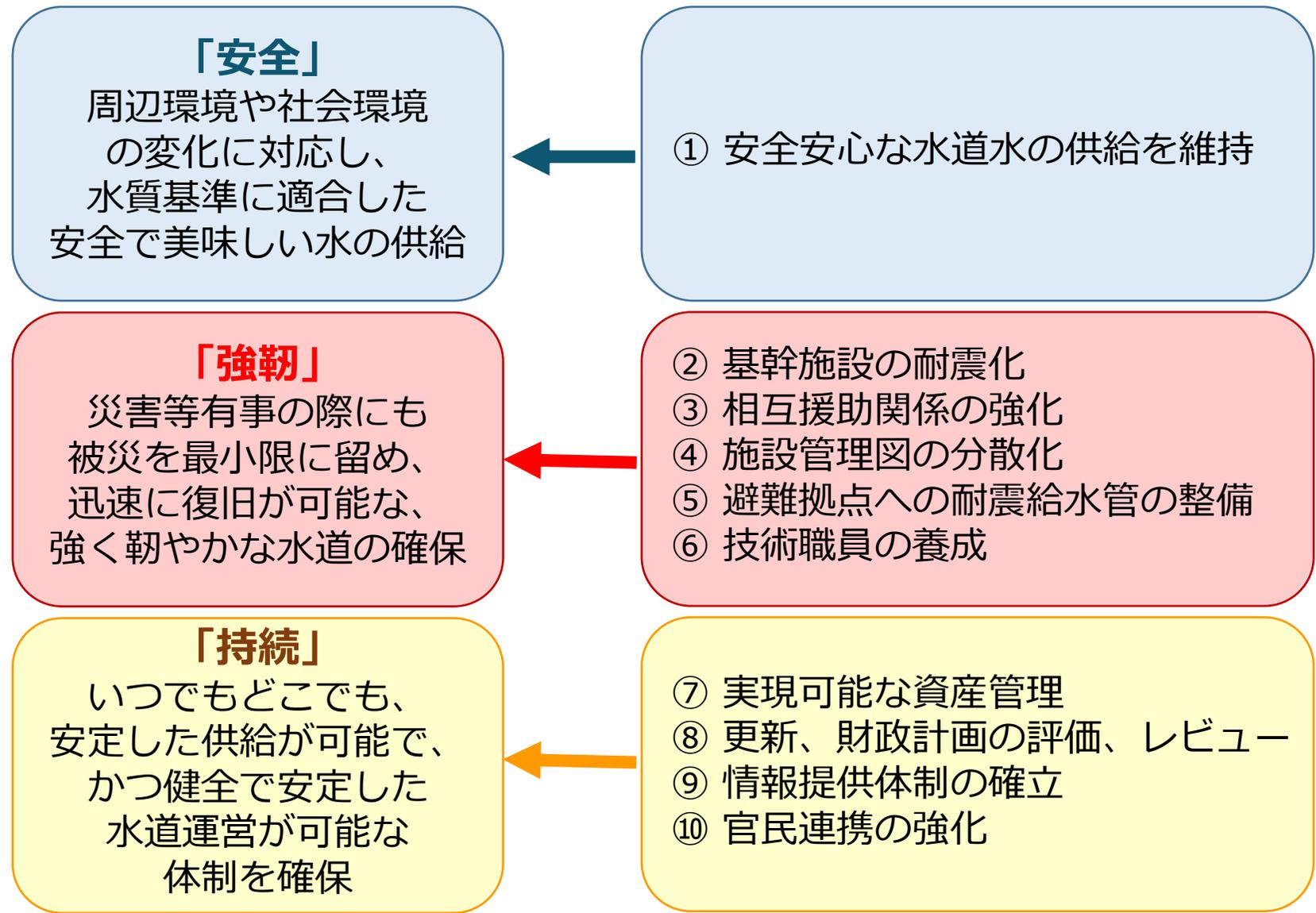
人口減少に伴い給水人口及び給水量が減少傾向

3. 現状評価・課題

	現状評価	今後の課題
安全	安心・安全な水の確保	
	<ul style="list-style-type: none"> 安定供給可能な水源が確保されている 水質等の監視設備が老朽化 末端水質監視も第三者委託 主要配水池に緊急遮断弁設置 	<ul style="list-style-type: none"> ダム水からの取水が多いため、水源の保全活動が重要 滅菌のみの水源のウエイトが高いため、ろ過、紫外線等の水処理の導入の検討が必要 管路の耐震化により安全確保
強靱	危機管理への対応	
	<ul style="list-style-type: none"> 災害等支援活動の協定を各方面と締結 「兵庫県水道災害相互応援に関する協定」 「上・下水道施設災害に関する応援協定」 防災訓練実施 2m³の給水タンクを1台 6ℓの給水袋を500枚以上常備 	<ul style="list-style-type: none"> <u>水道職員が少ないため、緊急時における満足な対応ができない可能性がある。</u> <u>人事異動などで手順等の継承を継続的に行うことができるシステム作りが必要</u>
持続	水道サービスの持続性の確保	
	<ul style="list-style-type: none"> 水道普及率は概ね100パーセント達成 水道サービスの維持は、事業運営の健全性、安定性に対応する職員の豊富な知識と技術力の更なる向上が必要 施設の効率的運用といった内部効率化だけでは、今後の事業環境の変化に対応できないため、料金の見直しなどを行い、事業経営の維持や老朽化施設の整備を行うための収入を確保が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 水道料金の適正な見直し 老朽施設の耐震化 主要配水管の耐震管更新 <u>専門職員の不足</u> <u>将来への技術、サービスの継承</u>

給水収益の減少以外にも、技術継承の課題あり

4. 理想像と目標設定



3つの施策目標と10の施策を推進

5. 推進する実現方策

「安全」

施策目標	実現方策	計 画											目標 計画の目 標年度	前ビジョン からの継続	効 果		
		28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38					
老朽化した監視装置の更新	遠方監視装置の更新事業														H33	○	<ul style="list-style-type: none"> ・監視、管理機能の強化 ・施設台帳機能の付加 ・住民サービス向上
浄水設備の強化	井戸から塩素滅菌のみで給水を行っている施設 に対し、紫外線等の浄水設備導入事業														H39	○	<ul style="list-style-type: none"> ・クリプトスポリジウム対策
	水道事業ビジョン・水安全計画策定														H28	○	<ul style="list-style-type: none"> ・水道の継続的運営 ・水質事故等に関するマニュアルの運用
水源の保全に対する検討	水道水源の保全について民間協議の開催・取り 組みの行動														継続	○	<ul style="list-style-type: none"> ・水道水源をテロや悪戯から守るため、官民一体となって監視強化等を検討することで、「私たちの水道」の意識を高めることを継続的に行うことで安全性が向上
第三者委託による水質管理体制強化の検討	・毎日の施設巡回、水質監視等を重点的に第三 者委託検討・実施														継続	○	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者の活用により迅速な対応が可能 ・分析器当計器類の点検をプロに委託することで維持管理面の安全性向上

5. 推進する実現方策

「強靱」

目 標	実現方策	計 画											目標 計画の目 標年度	前ビジョン からの継続	効果の予想						
		28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38									
・ 基幹施設の耐震化	基幹管路耐震化事業 基幹管路L=20.3km更新															H63	○	耐震管更新率が増加 H28：4.7%⇒7.0%			
	基幹配水池耐震化事業 ・ 基幹配水池：加都、多々良木等																H60	○	配水池耐震施設率の増加 H28：12.3%⇒H47：47.4%		
	緑が丘浄水場更新、耐震化事業																	H38	○	浄水施設耐震率の増加 H28：11.5%⇒H28：20% ダウンサイジング、統廃合によりコストダウン	
	その他配水支管更新事業																	H36	○	耐震管更新率が増加 H28：4.7%⇒7.0%	
	その他補修等の事業 (耐震化を意識した改修工事)																	H60	○	施設の耐震化率増加に寄与	
	水道施設耐震化計画、更新計画の整備 (耐震診断、管路診断も含めた具体計画の策定)																		H33	○	合理的な水道施設の更新(ダウンサイジング考慮)
・ 相互援助関係の強化	・ 兵庫県、隣接市町等との連携強化 ・ 住民の方々とのコミュニケーション、連携協議、避難訓練等の積極的開催																	継続	○	・ 水道の広域化協議 ・ 大規模災害訓練の実施で危機管理マニュアル検証 ・ パブリックコメントを求め、評価	
・ 施設管理図の分散化	・ 施設管理図分散設置方法検討 (管路台帳、施設台帳の再整備)																	H33		・ 全施設管理図を設置することで水道の庁舎 が被災しても資料検索が容易⇒事故の復旧迅速化	
・ 避難拠点への耐震給水管の整備	・ 避難拠点への耐震給水管の整備																		H28		・ 27年度朝来医療センターに耐震給水管布設 ・ 避難所への幹線強化も検討 ・ 耐震管更新率増加に寄与
・ 技術職員の養成	・ 技術職員の養成																		継続	○	・ 水道事業についてノークレーム・事故ゼロを目指す ・ 水道事業者としての意識向上

5. 推進する実現方策

「持続」

目 標	実現方策	計 画											目標 計画の目 標年度	前ビジョン からの継続	効果の予想	
		28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38				
・実現可能な資産管理	アセットマネジメントの充実 (次回の精度アップに向けた取り組み)				↔			↔				↔		継続		施設更新需要の管理
	経営戦略の策定		↔		↔				↔			↔		継続		経営の健全化の監視
・更新、財政計画のレビュー	アセットマネジメント、水道事業ビジョン等の 定期的な見直し				↔			↔				↔↔		継続		適正な料金体制の維持 健全経営の維持
・情報提供体制の確立	住民の方々との連携による地域からの情報収集 及び住民への情報発信の強化	—————											継続	○	水道サービスの向上	
・官民連携強化	第三者委託や地元企業と連携し、水道維持にお ける技術面のサポートを向上	—————											継続	○	水道サービスの向上	

6. 目標達成にむけて

【平成29年度～令和8年度】

「安全な美味しい水の供給と強靱な水道を目指して」

P D C A サイクルによる
定期的な見直しを実施



次の10年間のビジョンを審議していきます

(4) 今後の進め方について



審議会	審議内容	開催予定時期
第1回	事業概要の説明	令和8年2月
第2回	現状の課題・評価	令和8年3月
第3回	理想像と目標設定 推進する施策	令和8年6月
第4回	計画素案	令和8年10月
第5回	計画・概要版最終案、 答申案	令和8年12月

(4) 今後の進め方

	令和7年度			令和8年度				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
審議会		■	■			■		
パブコメ								
公表								
	令和8年度							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
審議会		■		■				
パブコメ					■	■		
公表							■	

令和9年3月に公表予定です

(5) 次回の会議について



審議会	審議内容	開催予定時期
第1回	事業概要の説明	令和8年2月
第2回	現状の課題・評価	令和8年3月
第3回	理想像と目標設定 推進する施策	令和8年6月
第4回	計画素案	令和8年10月
第5回	計画・概要版最終案、 答申案	令和8年12月